



南条っ子

南条っ子は 進んで学ぶ子
思いやりのある子
かいっぱいやりぬく子

目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成

南条小学校だより

R4.1.26 No.57



○ 学校公開中止のお知らせ

先日(1月21日)、緊急メールでもご連絡しましたが、2月19日(土)に予定していました学校公開を、新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑みて、中止とさせていただきます。そのため、19日(土)は休み、振替予定の21日(月)は授業日(登校日)となります。楽しみにされていた方も多いと思いますが、このような状況ですので、何とぞご理解ください。

なお、緊急メールを受信された時は、必ず受信の確認をお願いします。また、先日の緊急メールが届いていない方は、学校までご連絡ください。

○ 雪遊び(1年生・6年生・なかひま)

1月21日(金)、1年生となかよし・ひまわり学級、6年生が雪遊びをしました。カラフルなウェアに身を包み、雪だるまをつくったり、そり遊びをしたりして楽しそうに遊んでいました。



○ 全国学校給食週間(1月24日~30日)

※本校では独自に、南条学校給食週間として、12月13日(月)~17日(金)に行いました。

全国学校給食週間は、学校給食の意義や役割についてたくさんの人に知ってもらい、これからの学校給食について考えてもらうことを目的としています。



学校給食の始まりは明治22年(1889年)、山形県鶴岡町(現在は鶴岡市)にある小学校で、家庭が貧しくてお弁当を持って来ることができない子どもたちのために無料で食事(最初のメニューは、おにぎり、塩さけ、つけもの)を提供したことからと言われています。

その後、全国で学校給食が実施されるようになりましたが、戦争による食糧不足で中止になりました。戦後、栄養失調の子どもたちを救うために、外国からの援助で給食が再開されることになり、昭和21年(1946年)12月24日に新しい学校給食が始まったことから、この日を「学校給食感謝の日」としました。ところが、多くの地域で12月24日が冬休みに入ってしまうため、1か月遅らせた1月24日からの1週間を、「全国学校給食週間」とすることが決まり、この期間に様々な取組が行われています。

現在では、食べるのが困難だったころから大きく変わり、偏った栄養摂取をはじめ生活習慣病の増加など、子どもたちの健康状態が心配されるようになりました。学校給食は栄養のバランスの良い食事のお手本として、「生きた教材」の役割を担っています。できるだけ好き嫌いをせず、残さずに食べてほしいと思います。

○ 社会科 校外学習(3年生)

1月25日(火)、3年生が社会科の「工場の仕事」、「人々のくらしのうつりかわり」の学習の一環として、安田かまぼこ工場と福井県立歴史博物館に出かけました。かまぼこ工場では、ちくわ作り体験も行い、お土産もいただきました。県立歴史博物館では、昔の生活の様子を学ぶことができました。みんな「楽しかった。」と言って帰ってきました。

